

活動計画書 / 活動実施計画書

団体名：明治・内田橋堀川まちづくり協議会

1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

F 都市魅力 3. 個性的な魅力空間の創出

2 活動地域の特性、現況、課題

ふるさと内田橋ににぎわいと活気を取り戻したい!!これが私たちの活動の原点だ。

1610 年名古屋築城の際にあわせて福島正則によって開削された名古屋の母なる川「堀川」と、1910 年に船舶の航行と下水処理水の受け皿とするため開削された新堀川が合流する地点に誕生した内田橋。熱田神宮や七里の渡しにも近く、まきわら祭りが毎年繰り広げられるなど、熱田さんの歴史や文化を色濃く残すまちでもある。

しかし、少子高齢化の進展や若者の流出による人口減少、そして商店街の衰退、堀川・新堀川護岸の劣化に伴う都市景観の悪化など、私たちはまちの将来に大変な危機感を有している。そこで、ここ数年若者が集まり活気を取り戻しつつある内田橋商店街、まきわら神輿の奉納に取り組む若者で構成するまきわら会、支えあいのまちづくりに取り組む明治学区連絡協議会、近隣の有力企業の皆さんの街の復興への熱い思いが高まりつつある今こそ、堀川や新堀川といった水辺空間を生かしたまちづくり、活気ある商店街の復活、多彩な祭りへの取組み、堀川といった歴史資産・水辺空間を活かしたまちづくり、近隣の熱田神宮、七里の渡しと連携した回遊性の高いまちづくりを進めるなかで、本市の都市マスタープランにある都市魅力、個性的な魅力空間を創出していきたいと考えている。その手段として、すでにまちづくり協議会設立に向けた準備会を立ち上げ、議論を重ねてきた。また、商店街におけるイベントを活用し、アンケートを実施するなど、地域の問題点や課題の把握にも鋭意務めてきた。また、月に1 回、内田橋周辺の清掃活動が続けてきたが、本年度より、清掃区域を堀川・新堀川に拡大しより多数の近隣の方々に声をかけ、堀川・新堀川への関心を高めるとともに、堀川を活用したまちづくりへの気運の醸成を図っていききたい。今回の申請で採択されれば、有識者とも連携しまちづくりの絵姿を明確にしたうえで、その実現に向けて関係者一丸となり取組を進めたい。

3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

1. 明治・内田橋堀川まちづくり協議会の立ち上げのきっかけとなったのは、内田橋商店街における賑わいと交流、都市魅力の向上に向けた過去4 年間の取り組みが原点だと感じている。同商店街では、市経済局が実施する「魅力アップ補助金」を積極的に活用。内田橋まつり、まきわら祭では、毎回5000 人～6000 人の市民が参加するなど、内田橋商店街の活性化、商店街の価値向上を図ってきた。これにより市民のみならず商業者からの関心が高まり、シャッター商店街だった内田橋商店街は、ここ数年、新規出店が相次いでいる。魅力と個性あふれる商店街に向け着実に進化している。
2. 令和 5 年度、令和 6 年度、内田橋商店街は市経済局の「商店街オープン補助金」対象商店街に選定され、補助金を活用して、若者が集う植物店がオープンした。これらの取り組みの効果で明治学区を初め、商店街外部の方とのつながりも深まり商店街の枠を超え未来に向けた、明治・内田橋堀川まちづくりの足がかりとなった。
3. 今日まで4 年間、内田橋商店街における賑わいと交流、都市魅力の向上に向けた活動を進めたほか、学区連絡協議会などの地域の団体や企業、まちづくり団体との連携を通して、より広い視点でまちづくりを進めることの意義を感じた。具体的には近隣の歴史資産や親水空間を生かし連携することで、回遊性の高い個性的で魅力的なまちづくりへの期待が高まった。

4 助成を受けようとする活動の目的

長い歴史と文化的魅力を有する内田橋・堀川エリアにおいて学芸員による親子まちあるきイベント「ブラダバシ」を実施し、ふるさとの歴史的価値や魅力を再発見することで、まちへの関心を高めるとともに、よりよい魅力的なまちをつくらうとする気運の醸成を図る。また、定例的な堀川・新堀川の清掃活動を通し、地域住民による堀川・新堀川等への愛着を高め、親水空間づくりへの関心を高めていく。さらに、4 年間継続してきた内田橋商店街における都市魅力・個性的な魅力空間の創出、実現により、賑わいと交流のまちづくりを進め、ふるさと内田橋ににぎわいと活気を取り戻したいといった市民の期待を高めていききたい。これら活動を通して、アンケートなどにより幅広く住民意見を集約し、構想の実現に向けたロードマップであるビジョンマップの作成につなげていく。

5 活動による今年度の成果目標

明治学区夏まつりや内田橋まつり、「ブラダバシ」、清掃活動などを実施した際、参加者にアンケートを実施し、これら活動により、ふるさとの歴史的価値や魅力を再発見することができたか、堀川・新堀川等への愛着を高め親水空間づくりへの関心を高めることができたか、内田橋に賑わいと活気を取り戻したいといった市民の期待が高まったかなどを検証し、目標が達成できたかを評価する。なお「ブラダバシ」には50 人の参加を、また清掃活動には年間200 人の参加を目標とする。また、参加者は、子どものほか、商店街利用者、地域住民、外国人など、多様な方々に参加していただき、より広範囲で多様な方々の声をまちづくりに生かしていく。

さらに、近隣企業、商店街、学生、子ども、地域住民、外国人、有識者を含めて100 名規模の協議会員の登録を目指していく。

6 助成を受けようとする今年度の活動内容

- ・明治・内田橋堀川まちづくり構想ビジョンマップ作成のため委員会活動の実施。
- ・明治・内田橋堀川まちづくりエリアにおける学芸員とともに親子まち歩きイベント「ブラダバシ」
- ・明治・内田橋堀川まちづくりワークショップの開催、参加者アンケート実施。
- ・明治学区夏まつりにおける明治・内田橋堀川まちづくり住民アンケートの実施。
- ・内田橋まつりにおける明治・内田橋堀川まちづくり住民アンケートの実施。
- ・明治・内田橋堀川クリーン活動、参加者アンケート実施。

これらの活動を通じて集めた意見を未来の明治・内田橋・堀川まちづくり構想につなげて、個性的な魅力空間都市の創出につなげていく。

7 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

明治学区連絡協議会	広く近隣住民の声をうかがい住民の願いをまちづくりに反映させる必要があること、また住民の理解を図りながら街づくりを進める必要があることから、代表的な住民組織である学区連絡協議会との協力・調整は欠かせないものと考えている。
明治学区内企業	地域の産業や雇用、働く生きがいなど、企業そのものが地域の魅力向上に寄与すると考えている。また、企業が有するノウハウ等についてもご意見を頂きたいと考えている。さらに、まちづくり活動を進めるうえで、会合費やコンサル等に係る費用など一定の財源を確保する必要があることから、近隣企業の協賛をお願いしたいと考えている。また、内田橋商店街の地主とも調整を図っていく。
商店街	空き店舗対策など、内田橋商店街、豊田本町商店街など対象エリア内商業者、事業者との調整をはかり、商店街の魅力づくりを進めていく。
行政	名古屋港管理組合、住宅都市局、緑政土木局とは堀川・新堀川の堤防の安全性、親水空間づくりについて調整を進める必要が、また、経済局と商店街の魅力づくりについて、調整を図る必要がある。
学生	PTA に活動の協力をいただき、小学生～大学生まで幅広い学生の意見と協力を得たい。
有識者	まちづくりにおいて、専門的な取組をされている大学の先生や登録アドバイザーの方々からビジョンマップ作成へのご意見をいただいたり、ワークショップ等でご意見をいただいたりしたい。
地域一般住民	「ブラダバシ」、清掃活動、商店街のイベント等への参加のほか、様々なアンケートを通して、ご意見を頂く。

8 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
2024 年7 月	役員会にて申請結果の報告、今後の活動計画の確認
2024 年7 月	明治学区夏祭り（27／28日）でまちづくり住民アンケートの実施
2024 年9 月	明治・内田橋堀川親子まち歩きイベント（ブラダバシ）、 明治・内田橋堀川まちづくりワークショップの開催、参加者アンケート実施
2024 年10 月	明治・内田橋堀川クリーン活動、参加者アンケート実施
2024 年10 月	第1回明治・内田橋堀川まちづくりビジョンマップ作成委員会
2024 年11 月	明治・内田橋堀川クリーン活動、参加者アンケート実施
2024 年11 月	内田橋まつり（3日）でまちづくり住民アンケートの実施
2024 年12 月	第2回明治・内田橋堀川まちづくりビジョンマップ作成委員会
2024 年12 月	明治・内田橋堀川クリーン活動、参加者アンケート実施 S
2025 年1 月	NS等を活用した意見集約の実施
2025 年1 月	明治・内田橋堀川クリーン活動、参加者アンケート実施
2025 年2 月	第3回明治・内田橋堀川まちづくりビジョンマップ作成委員会（総括発表会）
2025 年2 月	明治・内田橋堀川クリーン活動、参加者アンケート実施

9 （構想策定・実践目的達成）までの想定プロセスと今後の展望

私たちは今日まで、内田橋商店街ににぎわいと活気を取り戻したい一心で、商店街における様々なイベントやシャッター商店街対策に取り組み、新規出店が相次いだり、商店街に訪れる人が増えていたりするなど、一定の成果があったと考えている。商店街の活性化に対する地域住民の期待もアンケートを分析する限りかなり高まってきた。

今後は堀川や新堀川、内田橋などを舞台にした「ブラダバシ」や清掃活動などを市民参加の活動を通して、地域住民、企業、そして子どもたちや学生などの若者を巻き込み、堀川、新堀川など親水空間を含め地域全体でにぎわい、交流のまちを築いていきたい。その延長線上で、ビジョンマップを作成し、まちづくりの絵姿を明確にしたうえで、その実現に向けて関係者一丸となり取組を進めたい。なお実施にあたり、以下の想定プロセスと今後の展望を念頭において進めていく。

1. まちづくりへの気運の醸成につなげるまちづくり活動の担い手づくり

- ・アンケートづくり、アンケートの収集分析、結果の広報等を行うスタッフの募集、育成。
- ・まち歩きイベント「ブラダバシ」実施にあたり、伊藤学芸員との日程調整、訪問箇所、訪問コース等について検討
- ・内田橋、堀川、新堀川清掃活動に参加するボランティアを学区連絡協議会の協力をいただき、また SNS 等の活用により募集する。

2. まちづくりへの気運の醸成につなげる内田橋商店街の取り組みに向けた準備

- ・まきわら祭り、内田橋まつり、内田橋夜市スタッフの募集、準備並びに実施。
- ・商店街清掃への住民参加の呼びかけ

3. 明治・内田橋堀川まちづくり構想ビジョンマップ作成委員会の設置

- ・ビジョンマップ作成委員会委員の選任を進める。有識者、まちづくりNPO、地域住民、商店街関係者始め多様な人材を広く募集する。なお、商店街でのイベントを通して、今日までいただいていた市民意見を活用するとともに、今年度、いただくご意見についても十分ビジョンマップ作成に生かしていく。次年度以降に取り組んでいくこと
- ・取り組みを通していただいたご意見やイベントの成果を次年度以降に反映させていくとともに、ビジョンマップ作成委員会で作成した絵姿を広く市民の皆様方に示し、さらに市民のご意見をいただいく。さらに冷静で客観的な分析や判断もできるよう専門家と相談しながらより完成度の高いビジョンマップにアップデートしていきたい。
- ・ビジョンマップを住民意見という形で行政関係者とも共有し、今後の名古屋市の計画に反映させていただく準備を行う。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3 ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格A4 とする。

※ この様式は公開されます。